

2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社Birdman 上場取引所 東

コード番号 7063 URL https://www.birdman.ne.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)安陪 信

問合せ先責任者 (役職名) MX事業本部本部長兼IR担当 (氏名)服部 裕一郎 TEL 03(6865)1322

定時株主総会開催予定日 2025年9月26日 配当支払開始予定日 -

有価証券報告書提出予定日 2025年9月26日

決算補足説明資料作成の有無:無 決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の連結業績(2024年7月1日~2025年6月30日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益	益	経常利益	益	親会社株主に 当期純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	319	△84. 7	△561	_	△684	_	△715	-
2024年6月期	2, 085	△53.5	△1,840	I	△2, 021	-	△3, 028	_
(12.) (-11.)	2225 /	. =	/				/	

(注)包括利益 2025年6月期 △711百万円 (一%) 2024年6月期 △3,027百万円 (一%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円銭	%	%	%
2025年6月期	△69.81	_	_	△60.5	△175.9
2024年6月期	△576. 48	_	_	△123.0	△88. 2

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 0百万円 2024年6月期 △1百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	1, 886	255	11. 7	10. 81
2024年6月期	375	△1, 446	△392. 6	△226. 27

(参考) 自己資本 2025年6月期 220百万円 2024年6月期 △1,475百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	△296	18	1, 889	1, 728
2024年6月期	△2, 122	51	990	115

2. 配当の状況

			年間配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2024年6月期	_	0.00	_	0.00	0.00	_	_	-
2025年6月期	-	0.00	_	0.00	0.00		_	-
2026年6月期(予想)	_	0.00		0.00	0.00		ı	

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

2026年6月期の連結業績予想については、MX事業及びEX事業ともに不確定要素が多く、現時点において合理的に算定することが極めて困難であるため、未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更:無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更:無② ①以外の会計方針の変更:無③ 会計上の見積りの変更:無④ 修正再表示:無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数 ③ 期中平均株式数

2025年6月期	20, 427, 500株	2024年6月期	6, 522, 300株
2025年6月期	208株	2024年6月期	208株
2025年6月期	10, 254, 052株	2024年6月期	5, 253, 853株

(参考) 個別業績の概要

2025年6月期の個別業績(2024年7月1日~2025年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益	<u></u>	経常利益	<u></u>	当期純利	益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	319	△84. 7	△520	_	△643	_	△667	-
2024年6月期	2, 085	△31.8	△1,885	_	△2, 065	_	△3, 042	- [

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期	△65.12	_
2024年6月期	△579. 12	_

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	2, 100	306	13. 0	13. 34
2024年6月期	588	△1, 444	△250. 2	△225. 88

(参考) 自己資本

2025年6月期

272百万円 2024年6月期

△1,473百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度において、当社の主力事業であるMX事業において、人員面の大幅な見直しを行ったことのほか、前事業年度における大型案件の受注件数をベースに、一定規模以上の案件の受注を予測していたものの、当該事業資金に充当する予定であった第8回新株予約権による調達資金に関して行使が想定どおりに進まなかったことにより、受注実績は当初の見込みを大きく下回る結果となりました。この結果、前事業年度に比べ売上高は大幅に減少し、経常損失及び当期純損失を計上いたしました。

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当期の経営成績の概況	2
(2)当期の財政状態の概況	3
(3)当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4)今後の見通し	3
(5)継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1)連結貸借対照表	5
(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5)連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	13
(重要な後発事象の注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、行動規制の緩和によるインバウンド需要をはじめとする観光需要が回復する等、明るい兆しが見られました。しかしながら、不安定な国際情勢の長期化、世界的な物価上昇とそれに対処するための各国中央銀行による金融引き締めの継続、急激な為替の変動や中国経済の減速等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社グループは、前連結会計年度における業績の大幅な悪化等を踏まえ、2024年9月26日開催の第12回定時株主総会において、経営体制を一新し、さらに2025年1月3日開催の臨時株主総会において、取締役を増員いたしました。また、前連結会計年度において多額の当期純損失を計上し、債務超過に至った経緯の精査を行いました。その結果、MX事業においては、人員面の大幅な見直し及び事業資金の確保の遅れが受注件数にも大きな影響を与えたこと、前連結会計年度において多額のセグメント損失を計上したEX事業においては、全面的な見直しを行い、計画的にリスクコントロールしながら投資判断を行う方針に転換したこと等に伴い、大幅な減収となりました。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度における売上高は319,062千円(前連結会計年度比84.7%減)、営業損失は561,214千円(前連結会計年度は営業損失1,840,223千円)、経常損失は684,530千円(前連結会計年度は経常損失2,021,554千円)、親会社株主に帰属する当期純損失は715,849千円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失3,028,783千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①MX事業

MX事業とは、マーケティング・トランスフォーメーション事業の略語で顧客の企業としてのブランド価値や商品・サービスのブランド価値を高めるべく、一般消費者へのイメージアップや認知度・購買意欲の向上等を図るためのソリューションを提供する当社グループの主力事業であります。MX事業では、顧客の顕在化したニーズだけではなく潜在的なニーズも引き出し、各ニーズに合うような様々なサービスを組み合わせた提案を行い、元請けから下請けに至る多段階構造ではなくワンストップでソリューションを提供し、既成概念を打ち破るクリエイティブとビジネスソリューション、それらを実現するテクノロジーを駆使したアイデアを実装してまいります。また、コンサルティング会社・広告会社・PR会社等の縦割りで進めていたビジネスを内製化により一気通貫することで、迅速な対応及び顧客へのコストメリットを創出することができ、企業や社会の挑戦に伴走いたします。

当連結会計年度においては、人員面の大幅な見直しを行ったことのほか、前連結会計年度における大型案件の受注件数をベースに、一定規模以上の案件の受注を予測していたものの、当該事業資金に充当する予定であった第8回新株予約権による調達資金に関して行使が想定どおりに進まなかったことに伴い、受注実績は当初の見込みを大きく下回り、売上高は大幅な減少となりました。

この結果、売上高は315,129千円(前連結会計年度比73.7%減)、セグメント損失は40,590千円(前連結会計年度はセグメント利益98,234千円)となりました。

②EX事業

EX事業とは、エンターテインメント・トランスフォーメーション事業の略語でエンターテインメント業界をアップデートするべく、当社グループの主力事業領域であるクリエイティブやデジタル・テクノロジーを駆使し、新進気鋭のアーティストやクリエイターと連携しながら新しいエンタメの形を創出する事業であります。わが国においては、通信やデジタル・テクノロジーの発達で、リアル空間からデジタル空間をストレスなく、シームレスに行き来できるようになってきており、新しいエンターテインメントの形や次世代のエンターテイナーが次々と生まれようとしております。EX事業では、このような状況下において、当社グループが従来から有するブランディング・広告プロモーションやデジタル・テクノロジーの知見を駆使して、型にとらわれずジャンルレスに生きる次世代アーティスト・クリエイターがファンとの新たなコミュニケーションや関係を構築でき、スターになるためのプラットフォームを実現いたします。

当連結会計年度においては、前連結会計年度において多額のセグメント損失を計上したことから、全面的な見直しを行うとともに、計画的にリスクコントロールしながら投資判断に基づく運営を基本としたことに加え、当社グループと契約するアーティストが2024年7月のデビュー直後に解散したこと及び以前よりプロジェクトとして取り組んでいた当社独自IPであるアーティストのデビューを見送り解散したことに伴い、売上高は大幅な減少となりました。

この結果、売上高は3,933千円(前連結会計年度比99.6%減)、セグメント損失は225,666千円(前連結会計年度はセグメント損失1,654,513千円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は1,886,964千円となり、前連結会計年度末に比べ1,511,024千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が1,612,354千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,631,928千円となり、前連結会計年度末に比べ190,965千円の減少となりました。これは主に、預り金が501,186千円増加したものの、買掛金が75,249千円、短期借入金が152,440千円、1年内返済予定の長期借入金が109,674千円、契約負債が96,214千円、長期借入金が221,874千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は255,036千円となり、前連結会計年度末に比べ1,701,989千円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が715,849千円減少したものの、新株の発行等により資本金が1,206,767千円、資本剰余金が1,206,767千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,612,354千円増加し、1,728,198千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、296,053千円の支出(前連結会計年度は2,122,786千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失713,858千円、売上債権及び契約資産の減少額222,828千円、立替金の減少額235,159千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、18,503千円の収入(前連結会計年度は51,404千円の収入)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入55,750千円、敷金及び保証金の差入による支出33,595千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,889,904千円の収入(前連結会計年度は990,369千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出331,548千円、株式の発行による収入2,372,792千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、不安定な国際情勢の長期化、世界的な物価上昇とそれに対処するための各国中央銀行による金融引き締めの継続、急激な為替の変動や中国経済の減速等、先行き不透明な状況が続いておりますが、行動規制の緩和によるインバウンド需要をはじめとする観光需要が回復する等、明るい兆しが見られております。

2024年の日本の総広告費は、通年で7兆6,730億円(前年比4.9%増)となり、1947年の推定開始以降、3年連続で過去最高を更新いたしました(出所:株式会社電通「2024年日本の広告費」)。このように、当社グループの主力事業であるMX事業のマーケットは依然として拡大傾向にあります。

当社グループは、このような事業環境のもと、再生に向けてグループー丸となり、当社創業時からの主力事業であるMX事業の立て直しを図るとともに、引き続きEX事業の全面的な見直しを行ってまいります。

以上を踏まえ、翌連結会計年度(2026年6月期)の連結業績予想につきましては、MX事業及びEX事業ともに不確定要素が多く、現時点において合理的に算定することが極めて困難であるため、未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上した結果、債務超過となりました。この点、当連結会計年度においては、新株予約権の行使等による資金調達により、債務超過は解消したものの、当連結会計年度においても重要な営業損失561,214千円、経常損失684,530千円、親会社株主に帰属する当期純損失715,849千円及び営業キャッシュ・フローのマイナス296,053千円を計上したことから、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

また、資金繰りにおいては、当連結会計年度末において現金及び現金同等物1,728,198千円を有しているものの、現時点において収益源となる事業を計画できていないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1)連結貸借対照表

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115, 844	1, 728, 198
売掛金	241, 406	19, 473
契約資産	1, 699	803
未成業務支出金	4, 677	20, 782
前払費用	25, 896	9, 395
短期貸付金	25, 500	_
未収入金	32, 922	2, 289
未収消費税等	65, 372	28, 971
立替金	235, 159	_
その他	119	_
貸倒引当金	△445, 978	△270
流動資産合計	302, 619	1, 809, 644
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	29, 581	29, 581
工具、器具及び備品	20, 535	20, 535
減価償却累計額	△50, 116	△50, 116
有形固定資産合計	-	_
投資その他の資産		
投資有価証券	16, 396	15, 458
長期貸付金	30, 250	_
敷金及び保証金	43, 929	61, 851
長期未収入金	77, 251	564, 087
その他	12, 994	10
貸倒引当金	\triangle 107, 501	△564, 087
投資その他の資産合計	73, 320	77, 320
固定資産合計	73, 320	77, 320
資産合計	375, 940	1, 886, 964
		, ,

負債の部 流動負債		
流動負債		
買掛金	78, 944	3, 695
短期借入金	721, 994	569, 554
1年内返済予定の長期借入金	331, 548	221, 874
契約負債	96, 481	266
未払金	157, 111	111, 925
未払法人税等	6, 924	19, 212
預り金	1,641	502, 828
その他	10, 651	6, 850
流動負債合計	1, 405, 298	1, 436, 207
固定負債		
長期借入金	417, 595	195, 721
固定負債合計	417, 595	195, 721
負債合計	1, 822, 893	1, 631, 928
純資産の部		
株主資本		
資本金	918, 654	2, 125, 422
資本剰余金	908, 654	2, 115, 422
利益剰余金	$\triangle 3, 307, 718$	$\triangle 4,023,567$
自己株式	△203	△203
株主資本合計	△1, 480, 612	217, 072
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4, 817	3, 858
その他の包括利益累計額合計	4, 817	3, 858
新株予約権	28, 842	34, 104
純資産合計	△1, 446, 953	255, 036
負債純資産合計	375, 940	1, 886, 964

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

(連結損益計算書)		(単位:千円)
	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2, 085, 456	319, 062
売上原価	2, 533, 031	300, 417
売上総利益又は売上総損失(△)	△447, 575	18, 645
販売費及び一般管理費	1, 392, 648	579, 859
営業損失 (△)	$\triangle 1,840,223$	△561, 214
営業外収益		
受取利息	10	115
持分法による投資利益	_	20
利子補給金	1,541	192
受取補償金	925	_
貸倒引当金戻入額	_	23, 519
消費税差額	227	393
その他	448	449
営業外収益合計	3, 154	24, 691
営業外費用		
支払利息	28, 660	35, 405
持分法による投資損失	1, 134	· –
増資関連費用	116, 499	80, 005
貸倒引当金繰入額	30, 250	32, 461
その他	7, 941	134
営業外費用合計	184, 486	148, 007
経常損失(△)	$\triangle 2,021,554$	△684, 530
特別利益		•
投資有価証券売却益	21, 671	_
その他	2, 198	_
特別利益合計	23, 869	_
特別損失		
減損損失	493, 421	6, 975
貸倒損失	535, 597	_
解約違約金	, <u> </u>	22, 353
特別損失合計	1,029,019	29, 328
税金等調整前当期純損失 (△)	$\triangle 3,026,704$	△713, 858
法人税、住民税及び事業税	2, 079	1,990
法人税等合計	2,079	1, 990
当期純損失(△)	$\triangle 3,028,783$	△715, 849
非支配株主に帰属する当期純利益		△115, 649
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		
祝云江小土に沛禹りるヨ別祀頂大 (仏)	△3, 028, 783	△115, 849

(連結包括利益計算書)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純損失(△)	△3, 028, 783	△715, 849
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	1, 170	3, 858
その他の包括利益合計	1, 170	3,858
包括利益	△3, 027, 612	△711, 990
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	$\triangle 3,027,612$	△711, 990
非支配株主に係る包括利益	_	_

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

			++ → 次 →		(中四・111)	
		株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	397, 905	387, 905	△278, 935	△165	506, 709	
当期変動額						
新株の発行	520, 749	520, 749			1, 041, 499	
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)			△3, 028, 783		△3, 028, 783	
自己株式の取得				△37	△37	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	520, 749	520, 749	△3, 028, 783	△37	△1, 987, 322	
当期末残高	918, 654	908, 654	△3, 307, 718	△203	△1, 480, 612	

	その他の包括	5利益累計額			
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	新株予約権	純資産合計	
当期首残高	3, 646	3, 646	2, 198	512, 554	
当期変動額					
新株の発行				1, 041, 499	
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)				△3, 028, 783	
自己株式の取得				△37	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1, 170	1, 170	26, 643	27, 813	
当期変動額合計	1, 170	1, 170	26, 643	△1, 959, 508	
当期末残高	4, 817	4, 817	28, 842	△1, 446, 953	

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	918, 654	908, 654	△3, 307, 718	△203	△1, 480, 612
当期変動額					
新株の発行	1, 206, 767	1, 206, 767			2, 413, 534
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△715, 849		△715, 849
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1, 206, 767	1, 206, 767	△715, 849	-	1, 697, 685
当期末残高	2, 125, 422	2, 115, 422	△4, 023, 567	△203	217, 072

	その他の包括	5利益累計額			
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	新株予約権	純資産合計	
当期首残高	4, 817	4, 817	28, 842	△1, 446, 953	
当期変動額					
新株の発行				2, 413, 534	
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)				△715, 849	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△958	△958	5, 262	4, 303	
当期変動額合計	△958	△958	5, 262	1, 701, 989	
当期末残高	3, 858	3, 858	34, 104	255, 036	

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	$\triangle 3,026,704$	△713, 858
減価償却費	11, 477	_
減損損失	63, 019	6, 975
のれん償却額	6, 890	_
貸倒引当金の増減額(△は減少)	414, 805	10, 877
受取利息	△10	△115
利子補給金	$\triangle 1,541$	△192
受取補償金	△925	_
支払利息	28, 660	35, 405
持分法による投資損益(△は益)	1, 134	△20
增資関連費用	60, 000	80, 005
投資有価証券売却損益(△は益)	$\triangle 21,671$	_
解約違約金	_	22, 259
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	180, 872	222, 828
棚卸資産の増減額(△は増加)	3, 864	△16, 104
前渡金の増減額(△は増加)	398, 209	_
前払費用の増減額(△は増加)	125, 388	17, 519
立替金の増減額(△は増加)	252, 806	235, 159
仕入債務の増減額(△は減少)	△160, 774	△75, 249
契約負債の増減額(△は減少)	△494, 126	△96, 214
その他	47, 306	6, 925
小計	△2, 111, 319	△263, 800
利息の受取額	10	115
利息の支払額	△28, 285	△30, 952
利子補給金の受取額	1,658	627
補償金の受取額	925	_
法人税等の還付額 法人税等の支払額	28, 971	1
伝入代寺の文払領 営業活動によるキャッシュ・フロー	△14, 748	△2, 044
	△2, 122, 786	△296, 053
投資活動によるキャッシュ・フロー	A 9, 900	
有形固定資産の取得による支出	△2, 099	
無形固定資産の取得による支出	△300	_
投資有価証券の売却による収入 貸付けによる支出	101, 640	_
貸付金の回収による収入	\triangle 55, 750	55, 750
資産除去債務の履行による支出	<u> </u>	$\triangle 5,069$
事業譲受による支出	$\triangle 1,393$ $\triangle 5,000$	△5,009
敷金及び保証金の差入による支出	△470	△33, 595
敷金及び保証金の回収による収入	14, 779	1, 418
投資活動によるキャッシュ・フロー	51, 404	18, 503
財務活動によるキャッシュ・フロー	31, 101	10, 303
短期借入金の純増減額(△は減少)	305, 270	△152, 440
長期借入金の返済による支出	$\triangle 321,473$	$\triangle 331,548$
株式の発行による収入	1, 037, 858	2, 372, 792
新株予約権の発行による収入	28, 752	67, 500
新株予約権の消却による支出		△17, 244
自己株式の取得による支出	△37	
増資関連費用の支出	△60, 000	△49, 154
財務活動によるキャッシュ・フロー	990, 369	1, 889, 904
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1, 081, 012	1, 612, 354
現金及び現金同等物の期首残高	1, 196, 856	115, 844
現金及び現金同等物の期末残高	115, 844	1, 728, 198
	110, 044	1, 720, 190

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上した結果、債務超過となりました。この点、当連結会計年度においては、新株予約権の行使等による資金調達により、債務超過は解消したものの、当連結会計年度においても重要な営業損失561,214千円、経常損失684,530千円、親会社株主に帰属する当期純損失715,849千円及び営業キャッシュ・フローのマイナス296,053千円を計上したことから、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

また、資金繰りにおいては、当連結会計年度末において現金及び現金同等物1,728,198千円を有しているものの、 現時点において収益源となる事業を計画できていないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められ ます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結 財務諸表に反映しておりません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、提供するサービスを事業単位の基礎として、包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。 したがって、当社は、サービス別のセグメントから構成されており、「MX事業」及び「EX事業」の2つを報告 セグメントとしております。

「MX事業」は、顧客の企業としてのブランド価値や商品・サービスのブランド価値を高めるべく、一般消費者へのイメージアップや認知度・購買意欲の向上等を図るためのソリューションを提供する当社グループの主力事業であります。「EX事業」は、エンターテインメント業界をアップデートするべく、当社の主力事業領域であるクリエイティブやデジタル・テクノロジーを駆使し、新進気鋭のアーティストやクリエイターと連携しながら新しいエンタメの形を創出する事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準 拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

		報告セグメント		調整額	連結財務諸表 計上額 (注) 2.
	MX事業	EX事業	計	(注) 1.	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1, 199, 106	886, 349	2, 085, 456	_	2, 085, 456
その他の収益	-	-	-	-	_
外部顧客への売上高	1, 199, 106	886, 349	2, 085, 456	_	2, 085, 456
セグメント間の内部売上高又は 振替高	ı	ı	-	-	-
計	1, 199, 106	886, 349	2, 085, 456	_	2, 085, 456
セグメント利益又は損失(△)	98, 234	△1, 654, 513	△1, 556, 278	△283, 944	△1, 840, 223

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△283,944千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 - 3. セグメント資産の金額は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

当連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

		報告セグメント		調整額	連結財務諸表
	MX事業	EX事業	計	(注) 1.	計上額 (注) 2.
売上高					
顧客との契約から生じる収益	315, 129	3, 933	319, 062	_	319, 062
その他の収益	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	315, 129	3, 933	319, 062	_	319, 062
セグメント間の内部売上高又は 振替高	l	-	-	-	_
計	315, 129	3, 933	319, 062	_	319, 062
セグメント損失(△)	△40, 590	△225, 666	△266, 256	△294, 957	△561, 214

- (注) 1. セグメント損失の調整額△294,957千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2. セグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 - 3. セグメント資産の金額は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	
1株当たり純資産額	△226. 27円	10.81円	
1株当たり当期純損失 (△)	△576. 48円	△69.81円	

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失である ため記載しておりません。
 - 2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	△3, 028, 783	△715, 849
普通株主に帰属しない金額 (千円)	_	
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (千円)	△3, 028, 783	△715, 849
普通株式の期中平均株式数 (株)	5, 253, 853	10, 254, 052
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	新株予約権4種類(新株予約権の数1,941個(普通株式1,904,100株))。	新株予約権2種類(新株予約権の数75,808個(普通株式7,580,800株))。

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	$\triangle 1,446,953$	255, 036
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	28, 842	34, 104
(うち新株予約権(千円))	(28, 842)	(34, 104)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	△1, 475, 795	220, 931
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	6, 522, 092	20, 427, 292

(重要な後発事象の注記) 該当事項はありません。